

令和２年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	52		学校名	茨城県立石岡第一高等学校					課程	定時制		学校長名	常井 安文				
教頭名	関 正貴										事務長名	箕輪 猛					
教職員数	教諭	6 (0)	教護助 教諭	1 (0)	常勤 講師	0 (0)	非常勤 講師	1 (0)	実習教諭, 実習 講師, 実習助手	0 (0)	事務 職員	0 (0)	技術 職員等	3 (0)	計	11 (0)	
生徒数	小学科		1 年		2 年		3 年		4 年		合計		合 計 ク ラ ス 数				
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	普通 科		8	2	4	5	9	5	5	3	24	17	4				
	科																
	科																

※（ ）の数は、兼務員数で、外数

2 目指す学校像

- (1) 創立110年を超える歴史と伝統を受け継ぎ、各学科の特色を生かし、地域における教育の中核として「魅力ある学校」「信頼される学校」となる。
- (2) 生徒一人一人が個性を伸ばし、将来の夢を実現するための知識・技能を身に付け、自信と誇りを持てる学校となる。
- (3) あらゆる教育活動の場面で、一人一人が輝く活力ある学校となる。

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	・多様な生徒が在籍し、学習への興味・関心に差が見られる	・教材の精選と学習・課題プリントの作成と工夫 ・対話と思考支援を大事にする机間指導
進路指導	・進路意識に差があり、卒業後に企業に正式採用されない生徒がいる ・修業年限3年での卒業（3卒）を希望する生徒がいる	・進路選択に関する情報の提供及び指導の充実 ・通信制との併修、高認試験希望者への学習支援の充実
生徒指導	・基本的生活習慣の確立に努めているが、欠席や遅刻が目立つ生徒がいる ・社会性・規範意識の育成が必要である	・基本的な生活習慣の確立 ・家庭との連携強化及び教育相談体制の確立 ・問題行動等に対する迅速な情報収集と的確な対応
特別活動	・学校行事や生徒会行事に対し、積極性に欠ける生徒がいる ・就業者（アルバイト）が多いものの勤労意識には個人差がある	・生徒の活動意欲の醸成 ・継続的な就業体験の記録、振り返りを通して勤労観の育成を図る
保健厚生	・心に問題を抱えている生徒が少なくない ・食生活に問題のある生徒が少なくない	・教育相談体制の確立や外部機関との積極的連携 ・学校給食を通じた食育指導の充実
職員の勤務環境の整備	・生徒及び保護者への様々なニーズに応えるため、職員は熱意や使命感をもって業務を担っており、時間外の対応件数も少なくない	・業務配分の均等化など、年間を通じた業務の在り方の確立を図る

4 中期的目標

1	基礎・基本を重視した教科指導の内容及び方法の改善に取り組み、基礎学力の向上を図る。また学び直しの機会としてアプローチする。
2	規則正しい学校生活を通して、基本的な生活習慣の育成に努める。
3	進路選択に関する情報を提供し、相互理解の中で進路意識の高揚を図る。
4	生徒一人一人との関わりを重視し、特別活動の充実を図る。
5	食や安全に関する指導を展開し、自らを見つめながら健康に生きる力を育む。
6	年間を通じた職員の勤務様態を鑑みた業務の在り方の確立により、働き方改革を図る。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
基礎学力の向上	・授業時間の確保に努める ・生徒の実態に応じた教材を利用し、学習・課題プリントの利用により「分かる授業の実施」に努め、学習意欲を高めさせる。 ・地域の特別支援学校との連携をはかり、多様な生徒の実態にあわせた教育方法の検討をすすめる。
進路意識の確立	・進路に関する情報収集や適切な進路選択ができる能力を育て、将来への目標設定を促す。
基本的生活習慣の育成	・欠席や遅刻を減らし、仕事と学校での学習の両立を促す。 ・家庭や社会との連携を図り、社会規範を遵守する態度を育てる。
特別活動の充実	・学校行事や生徒会行事へ積極的に参加させ、それらの活動を通して仲間意識や信頼関係を構築させる。 ・継続的な就業体験で学んだことを振り返り、将来の生き方を考えさせる。
保健厚生 of 充実	・心身の健康増進を図るため、教育相談体制を充実させる。 ・給食を通して、望ましい食習慣やマナーを習得させ、学年を越えて交流することの喜びや連帯意識を醸成させる。
職員の勤務環境の整備	・日常業務を見通し、効率化を図るとともに、長期休業中に閉庁日を設け、加えて休日のまとめ取りを推奨する。